

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成10年7月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第70巻 第4号

ISSN 0525-2997

**vol.70 no.4**

# 物性研究

**1998 / 7**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

文部省の在外研究員でアメリカの大学に行って来た。そこには、政府が導入しようとしている任期制の典型例であろう姿があった(と思う)。大学の助教授(Assistant Professor、日本の助教授はアメリカ流に言うと Associate Professor であろう、制度的に異なるのでうまく対応しないが...)に採用されるとそれはきちんとした任期が決まっているわけではない(そうだが)、テナアという、パーマネントになるための資格試験のようなものがある。試験と言うより、外部評価+それを参考にした内部選挙によるエヴァリュエーションである。これに通らなければ、その大学から追放されることになる。しかし、これに通って、いったん教授になってしまうと、アメリカには定年が存在しないから、本人の自由意思で引退するまでやめなくて良いわけである。定年というのは、性差別と同じように年齢に対する差別だとアメリカの最高裁が判決を下して以来、定年制がアメリカから消滅したのだそうだが、こういったアメリカの現状には当然、メリットもディメリットも存在する。アメリカ的なポストドク制や任期制を政府はよろこんで導入しようとした(している)わけだが、定年制廃止なんてのを導入しようとしたらどうなるのだろうか。アメリカでもそのおかげで若い人がなかなか職を得られずに大変困っているのが現状(私が知っているところでは、実際には70を過ぎたくらいから引退を意識し出すようであるが...)であり、日本にも導入したら大変なことになるだろう(それにしても50や60で定年というのはちょっとはやすぎる気がするのだが...)。やはり、その国の現状にあったやり方があるわけだから、ただアメリカがやったから右へならえというのはどうだろう。外国の良い面を進んで導入しようとするのは、もちろん大変良いことであるし、積極的に行いたいことである。しかし、日本流にだって良いところはたくさんある。ちゃんと現状を考えて、ご都合主義で行き当たりばったりではない、先を見通した改革と言うものが、本当に今、日本に必要なではないかと思う。なんだか、そのときそのときに官僚や政治家の気まぐれでいろいろな制度の改革が行われているような気がして仕方がないのは私だけだろうか? 欧米への(というよりアメリカへの)そんな右へならえを見ていると、現在でも"廃仏毀釈"が行われているような気がしてならない。

(K. Y. h v)

[物性研究]

編集長  
関本 謙 (京大・基研)

編集委員  
池田 隆介 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
武末 真二 (京大・総合人間)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
山田 鏹二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
大野 義章 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)  
松井 淳 (九大・理・物理)  
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: [busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp](mailto:busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp)

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第70巻第4号 (平成10年7月号) 1998年7月20日発行

発行人 村瀬 雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

---

[物性研究]

編集長  
関本 謙 (京大・基研)

編集委員  
池田 隆介 (京大・理・物理)  
佐々木 豊 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
武末 真二 (京大・総合人間)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
山田 鏹二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
大野 義章 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)  
松井 淳 (九大・理・物理)  
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: [busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp](mailto:busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp)

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第70巻第4号 (平成10年7月号) 1998年7月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費 1st Volume (4月号～9月号) 4,800円

2nd Volume (10月号～3月号) 4,800円

計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

## 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 70-4 (7月号) 目 次

○KADOWAKI-WOODS の関係の異方的な系への拡張 .....	深澤 英人、南方 雅成..... 465
○研究会報告 「ハミルトン力学系とカオス」.....	478
○編集後記.....	605

物 性 研 究 70-4 (7月号) 目 次

○KADOWAKI-WOODS の関係の異方的な系への拡張 .....	深澤 英人、南方 雅成..... 465
○研究会報告 「ハミルトン力学系とカオス」.....	478
○編集後記.....	605